

# ISO 8586 : 2023

## Sensory analysis — Selection and training of sensory assessors

### 官能試験—官能評価者の選定とトレーニング

#### 1. 規格の概要

この規格は、食品及び飲料並びに自宅及び個人ケア製品の訓練を受けた官能評価員及び専門官能評価員の選抜基準と訓練手順が規定されている。製品の評価にかかわる全ての産業に適用可能。

この規格は ISO 6658 を補足している。

#### 2. 検討状況

年 月	検 討 状 況
2010年2月～5月	統合された ISO8586 についての CD 投票
2010年7月	投票の結果、国際規格案 (DIS) として承認
2010年9月～2011年2月	DIS 投票 (日本は「賛成」で投票)
2011年6月	投票の結果、承認されず
2011年7月～9月	再 DIS 投票 (日本は「賛成」で投票)
2012年4月	投票の結果、最終国際規格案 (FDIS) として承認
2012年10月～12月	FDIS 投票 (日本は「賛成」で投票)
2012年12月	国際規格として発行
2023年4月	第2版が発行

※ISO 8586 は Part 1 (Selected assessors) および Part2 (Expert sensory assessors) に分かれて発行されていたが、2007年3月に開催された第19回 SC12 総会において、Part1 と Part2 の統合が決議された。

その後、4回の投票を経て、2012年に統合版 ISO 8586 が発行された。2023年4月第2版発行。

#### 3. 規格の構成

まえがき

序文

第1章 適用範囲

第2章 引用規格

第3章 用語及び定義

## 第4章 評価者の選定

- 4.1 一般
- 4.2 採用、予備スクリーニング及び採用
  - 4.2.1 一般
  - 4.2.2 採用状況
  - 4.2.3 採用方法
  - 4.2.4 内部採用及び外部採用の有利及び不利
  - 4.2.5 選定する人数
- 4.3 背景情報及び予備選抜
  - 4.3.1 初期の側面
  - 4.3.2 健康と心理の基準
  - 4.3.3 その他の要因

## 第5章 評価者の教育・訓練

- 5.1 一般
- 5.2 スクリーニングテストの種類
- 5.3 色覚
- 5.4 無味覚症及び無臭覚症
  - 5.4.1 一般
  - 5.4.2 無味覚症
  - 5.4.3 匂い認識テスト
- 5.5 テクスチャー
  - 5.5.1 一般
  - 5.5.2 結果の分析及び解釈
- 5.6 聴覚
- 5.7 表現能力
- 5.8 研修生の選抜

## 第6章 特定方法のためのパネルの最終選考

- 6.1 原則
- 6.2 一般
- 6.3 評価手順
- 6.4 訓練
  - 6.4.1 刺激の検出テスト
  - 6.4.2 刺激強度レベル間の区別テスト
  - 6.4.3 表現能力
  - 6.4.4 スケール使用訓練
- 6.5 特定製品訓練

- 6.5.1 一般
- 6.5.2 識別評価
- 6.5.3 記述的評価
- 6.6 特定方法訓練
  - 6.6.1 一般
  - 6.6.2 識別評価
  - 6.6.3 ランキング評価
  - 6.6.4 評価とスコアリング
  - 6.6.5 記述的官能検査
- 6.7 練習

第7章 官能検査パネルパフォーマンスと訓練効果の妥当性確認

第8章 グループの管理及びフォローアップ

- 8.1 動機付け
- 8.2 技能の維持
- 8.3 再構成
- 8.4 再教育・訓練
- 8.5 追加訓練

附属書A (参考) 代替色覚スクリーニング手順

附属書B (参考) テクスチャーの違いの認識

附属書C (参考) 洗剤と口蓋洗剤

附属書D (参考) 最も一般的なスケール例

附属書E (参考) スケーリング演習の例

附属書F (参考) ランキング及びスケールの使用による評価の例

附属書G (参考) 2規格によるスケーリングテスト例

参考文献